

ビデオ映画 MOVIES Vol.1

The Story of Pupu

プープーの物語

できればこのままスズとふたりで、いつまでも夜を切り裂いていたかったのに——
フウとスズ。ふたりっきりのハードボイルド・ロードムービー。



CAST

上原さくら
松尾れい子

國村隼

桜井大造
津田充昭
大森立嗣

山中零
鈴木清順

原田芳雄

STAFF

製作・配給／リトル・モア
製作協力／東京テアトル、フィルムメイカース

監督・脚本／渡辺謙作

撮影／村石直人 照明／鈴木達也 録音／柿澤潔 美術／三浦伸一 装飾／石田登 編集／田中慎二 音楽／三宅純
スクリプター／坂本希代子 衣裳／三浦明美 ヘアメイク／小沼みどり 撮影効果／多正行 スチール／大森克己
助監督／大崎章 製作担当／山本章 宣伝美術／平野文子 プロデューサー補／佐藤正樹・三澤真美恵

プロデューサー／竹井正和・菊地美世志
企画／有吉司・孫家邦
原案／Mickey Kenken Boo

1998年／73分／ヴィスタビジョンサイズ

The Story of PuPu

ニューエイジシネマを発信し続ける映画館＝テアトル新宿と、文芸ストリート誌「リトルモア」やロックマガジン「SNOOZER」の創刊などオルタナティブに活動を展開する出版社＝リトル・モアがタッグを組んで提供する《リトルモアMOVIES》。すべての作品がそれぞれの監督のデビュー作であり、各作品ともテアトル新宿のレイトタイムに、3ヶ月間独占公開されます。《リトルモアMOVIES》は、20代の若き監督たちによる、既成のメジャー映画をあっけなく飛び越える力をもった、1年間4本の映画で構成される「ストリートを疾走する」シリーズです。

この画期的な試みの巻頭を飾る作品が『プープーの物語』。

本作は、90年代に入ってヨーロッパで圧倒的な再評価の気運が高まる鈴木清順の助監督を務めた渡辺謙作の新人第1回監督作品です。

フウとスズ。女の子ふたりの過激でキュートなロードムービーは、情熱的なゲイ・カップルの追撃をかわし、盲目の殺し屋の啓示を受け、青いオープンカーに乗って加速する――

世紀末にふさわしい強烈なインパクト溢れるロードムービーの誕生です。

新人・渡辺謙作を支えるスタッフには、Vシネマ『パチンカー奈美2』（光石富士朗監督）などの撮影技師を務めた村石直人。につかつビデオ『ラブホテルの夜』（工藤雅典・金山功一郎・清水明監督）などの照明技師を務めた鈴木達也。

『棒の哀しみ』（神代辰巳監督）、『トカレフ』（阪本順治監督）で毎日映画コンクール録音賞に輝いた柿澤潔。ジャズミュージシャンとして活躍するかたわら、“ソニー”“コカコーラ”などこれまで2000曲に及ぶCM音楽や映画『MEMORIES』（大友克洋監督）のサントラを手掛けた三宅純が音楽を担当。また、スチールカメラマンとして、写真集『Very Special Love』（リトル・モア刊）を上梓したばかりの豪腕カメラマン・大森克己が参加するなど、映画界の内外から若き実力者たちがこの映画のために集結しています。

CAST

「AXEL」（ANB系列）「RRR」（NTV系列）などのレギュラー番組で人気急上昇中の上原さくら。CMや音楽活動「上原さくら+東京ミュージックサロン」などマルチな活動を展開する彼女にとって、天衣無縫な“スズ”を演じる本作が映画デビュー作となります。

スズを守り抜こうとするもう一人のヒロイン“無敵のフウ”には、『水の中の八月』（石井聰互監督）で鮮烈デビューを飾り、1998年には、本作をはじめ出演映画の公開が目白押しの、松尾れい子が扮します。

カブトムシのピー太郎をこよなく愛する“殺し屋ジョージ”には、圧倒的存在感の原田芳雄。

スズの命を狙う“木嶋”には、良質な日本映画には必ずこの人が出演しているといわれるほど印象的な存在・國村隼。最近ではカンヌ国際映画祭カメラ・ドール賞を受賞した『萌の朱雀』（河瀬直美監督）にも出演しています。

“老人”役には、渡辺謙作のためならと駆け付けてくれた鈴木清順。

謎のトランクマンを演ずるジョー山中の子息・山中零。まだ小学生ながらも超大型新人登場を思わせる、強烈な印象を残します。

他にも、劇団「野戦の月」を主宰するアンダーグラウンド演劇界最後の大家で、本作が映画初出演となる桜井大造、怪優・磨赤児の長男、大森立嗣らが出演、早くも1作目で確立された感のあるWATANABE WORLDを支えています。

STORY

フウとスズは女の子ふたりだけで旅している。

目的は子豚のプープーの墓参り。

途中、スズが昔、ちょっとだけ関係のあった木嶋という男に会いに行く事に。

どうやら木嶋を脅迫するつもりらしい。

ふたりがやって来ることを知った木嶋は、盲目の殺し屋・ジョージから拳銃を手にいれ、

反撃の準備にとりかかる。

ふたりは旅の途中、青いオープンカーに乗った自称ゴルファーやゲイ・カップルと出会う。

奔放な性格のスズのおかげでふたりはたびたびピンチに立たされるが、

そのたびに謎のヒーロー・トランクマンが現われ、ふたりを救う。

「フウはスズが好き…スズは？」

「…」

トランクマンの登場でスズとフウの仲はギクシャクしてきた。スズがトランクマンに恋をしたからだ。

そして夜、フウはスズと別れる決意を固めた。

青い空。緑の草原。赤い血。

オープンカー。拳銃。殺し屋。トランクマン。

決闘の時がやってくる。

フウとスズ。ふたりの気持ちは時空を飛び越え、そして…!?



“PLUS-1”

写真集「BABYLAND」（リトル・モア刊）、「HYPER BALLAD」（スイッチ・パブリッシング刊）を上梓し、「SWITCH」「CUTiE」などの雑誌でも活躍する写真家ホンマタカシの初監督ショート・ムービーが“PLUS-1”として同時上映！

1998年2月よりテアトル新宿にてレイトタイム独占ロードショー！

テアトル新宿 TEL.03-3352-1846 新宿東口・伊勢丹新館隣り

配給／リトル・モア 〒107 東京都港区南青山3-3-21-101 TEL.03-3401-1042 FAX.03-3401-1052